

広報

JAさらべつ

2010 No.415 DECEMBER

12

topics (2~4P)

農業協同組合法公布記念日

「一日役職員」を実施



JAさらべつ

農業協同組合法公布記念日 「一日役職員」を実施



常務理事 本多 将裕さん (東栄)
JA青年部部长



代表理事組合長 田井 輝男さん (更別東)
農事組合長会会長



専務理事 渡 裕美子 (平和)
JA女性部部长



常勤監事 井脇 健治さん (香川)
農事組合長会副会長

農業協同組合法公布記念日に伴い11月19日、JAさらべつでは記念行事として「一日役職員」を実施した。この行事は、組合員の皆様にJA事業内容の理解を求めると共に、今後の運営に活用していく目的として実施され、今年で17回目となった。

今年度は、農事組合長会より2名、JA青年部より5名、JA女性部より3名が出席。業務開始時刻と共に朝礼が行なわれ、細矢組合長より出席者一人ひとりに委嘱状が手渡された。細矢組合長挨拶と続き、その後、応接室に場所を移して「一日役職員企画会議」が開催され記念行事の日程や概要説明等がなされた。一日役職員の皆様は会議終了後それぞれの部署に分かれ業務を開始。常勤役員、参事、各部長の説明を受けながら決裁文書等に目を通し、和やかな雰囲気の中で実務を行なった。

約40分の実務の後、引き続き行なわれた「JA施設見学」では、始めに現在稼働中のJA配合肥料の製造工場や、今年2月に完成した第10工場(新穀類乾燥調製施設)や食用馬鈴しょ選果場などの利用倉庫施設を見学。その後バスで移動し、堆肥製造施設や独身職員用住宅なども見学した。

最後に、本所事務所に戻り、「終了セレモニー」が行なわれ、一日組合長を務めた田井輝男農事組合長会会長(更別東)が「今日は、職員の皆様が普段行なっている業務に携わり、とても貴重な体験をすることができました。施設見学では、新工場のような作業工程を見て、改めて安心して出荷できる施設と実感することができました。今後ともJAさらべつの経営に協力と努力をしていきたい」と挨拶。記念行事の全日程が終了した。



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され63年目を迎えました。制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと金融危機、食料需給のひっ迫、地球温暖化・環境問題等が一層深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。

国内的には市場原理の名のもとに行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっています。

私たちは平成21年、「第26回JA北海道大会」を開催し、共同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」をテーマに、組合員に基軸を置き、北海道農業・JAが抱えるさまざまな課題の打開と地域と消費者に対して果たすべき役割を踏まえ、『北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦』と『協同と信頼の絆で築く新時代のJA』に関する決議を確認いたしました。

今後ともWTO農業交渉はじめEPA・FTA、景気低迷等厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を発揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。



総務部長 田井 一彰さん（更別東）
JA青年部書記長



参事 道見 哲啓さん（更別）
JA青年部副部長



営農部長 水口 恵充さん（北更別）
JA青年部幹事



経営相談部長 吉田 富士子さん（北更別）
JA女性部副部長



酪農部長 渡辺 浩明さん（更生）
JA青年部幹事



購買部長 角玄 真美代さん（旭）
JA女性部会計

若妻すみれ会スポーツ交流会開催

若妻すみれ会（中屋敷朝子会長、会員26名）は11月5日、更別村農業者トレーニングセンターにてスポーツ交流会を開催した。同交流会は、会員同士の交流を深め、また、日頃の運動不足解消や体力作りを目的として、例年11月に開催している。

今年は9名の会員が参加。3人1組に分かれミニバレーで汗を流した。会員達は時折休憩を交えながら約2時間に渡り「試合」を行ない、コートの内外からは終始歓声や笑い声が飛びかっていた。短い時間ではあったが会員達は楽しい時間を過ごし交流を深めた様子だった。



本年産大豆収穫終了

本年産農産物の収穫作業も残りわずかになる中、豆類では最後となる「大豆」の収穫が10月23日から開始され、JAのコンバインが稼働し担当職員らが作業にあたった。

今年は10戸の生産者により30・77畝が作付けされており、各圃場では、担当職員らによって水分や収穫した際の汚粒状態などの品質確認が行なわれ、収穫適期に達した大豆から随時収穫していく。収穫するコンバインは小麦の刈取りと兼用で、刈取部（ヘッド）を替えて作業する。刈取部のテーブル幅は5・1畝あり一度に8畦ずつ刈取っていく。

今年の収穫作業は、収穫時期の天候にも恵まれた事もあり、昨年より大幅に早い10月31日に全てが終了した。



秋の廃プラ回収作業実施

平成22年度秋の廃プラ回収作業が11月8日から4日間に分けて行なわれた。今年6月に行なわれた廃プラ回収に続き、年内2度目の実施となった。

回収したのは、使用済みのマルチ、牧草のラップフィルム、パック、肥料袋などで、それぞれ生産者宅でパックに詰められた後、各会館に持ち込まれた。各会館では担当職員が生産者と共にトラックの荷台から降ろし、一つひとつに生産者名を記入する。その後は、運送会社によって回収され、苫小牧市の佃苦小牧清掃社や、清水町の社会福祉法人清水旭山学園に搬送する。尚、回収した廃プラは主に固形燃料として再利用される。

昨年実施した冬の回収作業では、初雪が降り会館に持ちこまれた廃プラに雪が積もる条件の中で実施されたが、今年は天候にも恵まれ、予定された日程通りに全ての作業が終了した。



JA配合肥料製造作業開始

JA配合肥料（森田邦彦工場長、従業員18名）の製造作業が11月16日から開始された。

今回製造するのは、馬鈴しょ用、甜菜用、豆類用、コーン類用、牧草用、小麦の追肥用の配合肥料で、昨年より2種類多い全29種類、約24万6千袋（500kgパック×20kg換算）の製造を予定している。

製造期間中、従業員が2班に分かれ一週間間隔で交代し作業を進め、原料タンクから供給され各肥料の成分に合わせて混合した肥料を、計量機で20kgや500kgに計量し袋詰めを行なう。袋詰めした肥料は、生産者自らの引取りか運送会社によって配送され、生産者宅で保管。来年春の播き付け時に使用される事になる。



JAさらべつ農業機械早期予約展示会及びスタンド売出しが11月8・9日の両日、JA駐車場を会場に開催した。

展示会では、トラクターやポテトハーベスター、全自動ビート移植機などの大型農機をはじめ、肥料分配機や苗運搬分割機などの小型農機具まで、様々な種類の農業機械が展示され、来場者の問い合わせに各出展メーカーの担当者が説明にあたった。会場ではこの他、自動車メーカー各社による新車自動車の展示が行なわれ、会場内を賑やかな雰囲気させた。

また、同時開催されたスタンドの売出しでは、バッテリーやカー用品、営農資材などの他、スタッドレスタイヤの販売が行なわれ、各担当者らが説明にあたった。

開催期間中は雨日ともに生憎の雨に見まれ、来場者の足に影響を与えることが懸念されたが、雨対策をした来場者が次々と会場を訪れ賑わいをみせていた。



更別村農業青色申告会講習会開催

更別村農業青色申告会（若園芳一会長）は11月26日、JA研修室において代議員など12名が出席し「e-Tax講習会」を開催した。

帯広税務署個人課税第一部門統括国税調査官の小田稔氏と、上席国税調査官の大西秀之氏を講師に招き、「確定申告書等の申請書を自宅のパソコンで作成しインターネットを通して申告するシステム『e-Tax』」の使い方について、約2時間に渡り説明がなされた。

始めに、小田統括国税調査官が「e-Taxの概要を実際にパソコンを通して見ていただき、簡単に申告書を作成できる事を体験していただきたい」と挨拶。その後早速講習会へと移った。

講習会では、大西上席国税調査官が実際にパソコンを使用しながら進めていき、e-Taxによる申告書の作成から送信まで一連の操作方法をプロジェクターで映して説明にあたった。参加した代議員は、各自持参したパソコンを使用し説明に添ってパソコンを操作。それぞれが自らの申告書を作成した。

代議員相互に教え合ったりする姿や、大西上席国税調査官が個別に説明する場面などもあり、終始真剣な表情の中で講習会は進められた。



農業機械早期予約展示会 及びスタンド売出し開催

食用馬鈴しよ生産部会

「コープこうべ北海道まつり」で応援販売

を考へ、次に傷が少なく見た目の良い商品を選ぶといった姿が見受けられ、価格による消費低迷はあまり感じられない様子だった。開催期間を通しメーカーをはじめとする販売した農産物はどれも順調な売行きとなった。



食用馬鈴しよ生産部会（高畑幸夫部会長）は、10月29日から31日の3日間、兵庫県神戸市で開催された「コープこうべ北海道まつり」で応援販売を行ない、高畑部会長、角玄勝信副部会長、JA担当職員が参加し、更別産フードプランメーカーのPRを行なった。開催期間中、神戸市内のスーパーでは、JAさらべつを含め全道4JAの生産者など各地区の代表者が店頭立ち、メーカーや男爵、玉葱の栽培方法や特徴について消費者に説明。それぞれ試食を交えながらPR販売を行なった。店頭では、高畑部会長や角玄副部会長らが日頃の感謝を込め、消費者に丁寧な説明を行ない、また、PR方法も商品の展示方法に注意し、試食についても時間帯や天候などを考へ、量を調節するなど、様々な工夫をこらしたPR販売を行なった。実際に購入した消費者からは、第一に安心・安全（フードプラン商品）を考へ、次に傷が少なく見た目の良い商品を選ぶといった姿が見受けられ、価格による消費低迷はあまり感じられない様子だった。開催期間を通しメーカーをはじめとする販売した農産物はどれも順調な売行きとなった。

更別和牛改良組合

視察研修会「ファームズ千代田」など視察

更別和牛改良組合（松橋昌和組合長）は11月10・11日の日程で、生産者6名が参加し、更別和牛改良組合視察研修会を実施した。始めに美瑛町にあるファームズ千代田を訪ね、農場などを視察した。ファームズ千代田は25名の社員が勤め、びえい和牛として繁殖から肥育までの一環経営を営み、更にレストランや観光農園といった多目的な分野で実績を上げている。社長の高橋さんは現在6つの部門に力を入れており、①和牛400頭の雌の繁殖、②F1部門においては所有種雄牛の評価を上げる上で買取りし肥育成績を上げる、③ふれあい農場については、ヤギや綿羊、アヒル等に触れ合い、乗馬も出来る、④堆肥施設は発酵した堆肥の販売を行なう、⑤レストランの経営、⑥人工授精所を持ち所有牛である「悠照」の精液販売を行なう。また、北海道生まれの和牛を作り受胎率を高め枝肉重量の取れる種雄牛として高い評価が得られるよう目指す。と説明した。次に、上士幌町のJA全農ETセンターを視察した。同センターでは供卵牛として620頭、受卵牛として1200頭を飼養し、週3回の採卵を実施している。1頭の牛で1産後80日間隔、年4回採卵し廃用になるまで行なっている。採卵した卵は平均Aランク（不純物、汚れ等の無いもの）5個位で凍結させて活用し、残りのBランクは生で活用している。また、育種価の高い雌牛を導入し、流通する精液でETを行なっているが、人気が先取りとはならないが、3元交配で選定を行なっている。現在、受精卵システムとして同職員が現地で生卵を移植する巡回作業を行ない、乳牛や肉牛、F1に移植し、優良な系統の増殖と有利販売に向けての事業展開を行なっている。



更別村ホルスタイン改良同志会

会員勉強会「土壌診断」などの指導受ける

更別村ホルスタイン改良同志会（山崎靖会長）は10月22日、会員6名らが参加し十勝農業協同組合連合会農産化学研究所にて会員勉強会を開催した。今回の勉強会では、土壌診断を希望する会員が事前に採取した土壌サンプルの検査結果をもとに、同研究所の方が直接「草地更新」「管理維持」について指導を行なった。その中でポイントとして何点か上げ、草地更新の際には土壌PHの改良目標を6.5とし、深度15〜20センチまで改良する。PHが低いと肥効率が低下し作物の生育が阻害され雑草の侵入が進む。草地は7〜8年目からシバムギが急激に増えるため、8〜10年目の更新を目安にする。更新時の施肥は春と秋で1対1になるように分肥する。また、タンカルは効果が遅いので前年秋に散布する。前年秋にできない場合は、効果がすぐ出やすい消石灰を春に代用する。苦土とカリウムのバランスが崩れると、苦土が土壌中にあっても植物が吸収できなくなってしまう。更新する際には土壌中にリン酸が含まれていても投入しなればならない。一般項目の養分状態が基準外であっても大幅な差がなければ牧草の品質に問題は無い。草地の施肥標準量は植生に応じて設定されているため植生タイプを必ず報告すること（マメ科はあまり窒素を必要としないので施肥量がかわってくる）。とそれぞれ詳しく説明がなされた。



種馬鈴しよ生産部会

道外視察研修「株クボタ堺製造所」など視察

種馬鈴しよ生産部会（福田隆幸部会長）は、10月27日から29日の日程で道外視察研修を実施し、種馬鈴しよ生産者17名が参加のもと、株クボタ堺製造所（大阪府）や築地市場（東京都）などを視察した。株クボタ堺製造所では、始めにクボタサービスセンター杉本吉昭所長によって概要説明を受けた。同製造所では、現在、主にトラクターやディーゼルエンジンの製造を行っており、敷地面積6万坪（甲子園球場の約5倍）、従業員数2350名によって作業が進められていた。同製造所では、トラクター1台を約4分間で完成させることが可能な生産能力を兼ね備えており、今年の生産累計台数は同じく堺市にある堺臨海工場や筑波工場と合わせ、トラクター350万台、エンジン2億5千万台の実績に及んでいる。概要説明の後は、杉本所長の案内で施設を見学。工場内に入り、各種部品の製造や組立て、検査ラインにいたるまで一連の製造工程の説明を受けた。東京都では、築地市場を視察。東京シティ青果株の藤沢課長より説明を受けた。現在市場外流通が増え取扱量が減少傾向にあるが、その中において、取引から支払いまでを3日以内に行なう早さが市場の強みである等、特徴について説明を受けた。その後、場内を見学し視察研修は終了した。



酪農部からのお知らせ！



今般、JAさらべつと更別和牛改良組合の協賛にて、地場で生産された安全でおいしい和牛をご賞味いただきたいと特別企画致しました。
 さらべつ黒毛和牛の飼養及び販売頭数は年々拡大しています。更別の恵まれた自然の中で生産者が丹精こめて飼育した和牛は、市場または販売先から高い品質評価を得ています。今回販売します牛肉は、村内の(有)美郷牧場で育てられた黒毛和牛(A4個体識別番号 0374006684)です。

1. 販売日時 平成22年12月22日(木) 午前11時より

- * 数量に限りがありますので先着順とさせていただきます。
- * 品切れの際は、早期に販売を終了させていただく場合がありますのでご容赦ください。
- * 引取りの際、保冷剤等は用意いたしませんので鮮度管理にご注意ください。
- * 「ネット予約受付」「お歳暮ネット販売(冷凍パック化粧箱詰め)」を合わせて行ないます。詳細につきましてはこちらをご覧ください。

JAさらべつホームページとリンク
<http://ja-sarabetsu.jp/>
 専用ホームページ
<http://wagyuu777.web.fc2.com/>

2. 販売場所 JAさらべつ2階会議室

3. 支払方法 現金引渡し
 ※お歳暮ネット販売につきましてはホームページご覧下さい。

*お問い合わせ先: JAさらべつ 酪農課52-2171

主催 更別村農業協同組合 協賛 更別和牛改良組合

【お問合せ】

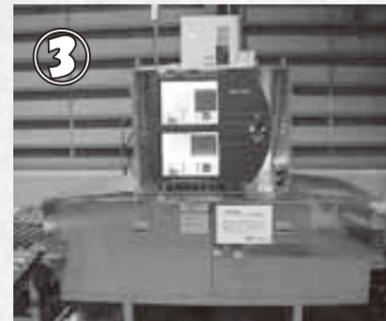
JAさらべつ酪農部酪農課 TEL 52-2171

JA利用倉庫第10工場では豆類の紙袋詰め作業が順調に行なわれている。従来、職員やアルバイトによって行なわれていた作業は、現在、新工場建設に伴い新たに導入したロボットによって行なわれており、この日(11月19日)は大手亡の紙袋詰め作業の最中だった。

作業工程は、手選別作業などを終えた豆が様々な搬送ラインを通り、「自動原料給袋装置」に供給され、紙袋に詰められ縫われる。その後、「X線異物検査装置」を通り、製品の中の異物を検査。異物が確認された場合搬送ラインからはじかれるようになっていく。「重量チェック」で再度製品の重量を計測し、最後に「ロボットパレタイザー」でパレットに積まれる。「ロボットパレタイザー」はプログラムの変更する事によって、(1段あたり)6本積みや9本積みなど用途にあわせた積み方が可能となる。

この施設では、1時間あたり400〜450袋の早さで製品が作られており、注文に応じて金時、小豆などの紙袋詰め作業も行なわれる。

豆類紙袋詰めロボット稼働中



- 【ライン説明】
- ① 「自動原料給袋送致」 自動的に紙袋が供給され豆が詰められる
 - ② 「紙袋を縫うミシン」 次々と紙袋の口が縫われる
 - ③ 「X線異物検査装置」 豆以外の物を検知しライン上からはじく
 - ④ 全ての検査を終え搬送ラインによってロボットパレタイザーへ
 - ⑤ 「ロボットパレタイザー」 プログラムの変更により積み方を変更できる



この程、島武男さん(更南)がJAさらべつを訪れ、蒸気機関車の模型(C62つばめ)を寄贈した。島さんは約2年間を費やし自作で2台の模型を製作した。模型はライトの点滅や車輪が回るなど忠実に再現されている。

完成した2台のうち1台は、今年6月に更別小学校に寄贈。今回もう1台をJAさらべつに寄贈した。島さんは「今では見ることができないSLを、模型を通して見ることで、昔の生活や歴史を知ってもらいたい。後世までSLが語り継がれれば」と話した。

模型は、貯畜共済課の貯金カウンター上に展示されている。



蒸気機関車模型展示



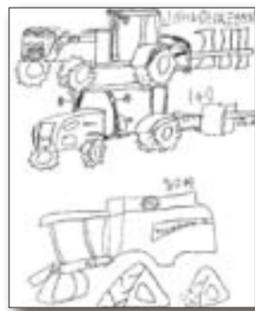
みんなのお絵描 (敬省略)



細矢さくら (10)



よしだあきふみ (26)



森田夏端樹 (8)

数独の答え

3	2	9	5	8	6	7	4	1
4	8	5	7	2	1	3	9	6
1	6	7	4	9	3	2	5	8
8	3	2	6	4	7	5	1	9
6	9	1	2	3	5	8	7	4
7	5	4	8	1	9	6	3	2
9	1	6	3	5	8	4	2	7
2	7	3	9	6	4	1	8	5
5	4	8	1	7	2	9	6	3

【答え】10

今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ

♈ 牡羊座 3/21~4/19

【全体運】行動力が高まりそう。やってみようという意気込みがあるなら、積極的にトライして。大掃除を丁寧に行くと開運効果大
 【健康運】ストレスの解消には、軽い体操がオススメ
 【幸運を呼ぶ食べ物】タラ

♉ 牡牛座 4/20~5/20

【全体運】つまらない意地を張りやすくなっているかも。深呼吸で気持ちを静めて。気晴らしには神社やお寺の散策が最適
 【健康運】体を動かすことで、気力が上向きそう
 【幸運を呼ぶ食べ物】おでん

♊ 双子座 5/21~6/21

【全体運】両極端に考え過ぎてしまう時期。重要な決定は延期した方が無難。信頼できる相手に相談すると好結果に
 【健康運】冷え対策を心掛ければ体調に好影響あり
 【幸運を呼ぶ食べ物】干し柿

♋ 蟹座 6/22~7/22

【全体運】物事を深刻に受け止めてしまいがち。冗談にピリピリせず、笑い飛ばしましょう。気分転換には読書がベスト
 【健康運】乾燥による肌荒れに注意。まめにケアを
 【幸運を呼ぶ食べ物】カマボコ

♌ 獅子座 7/23~8/22

【全体運】パーティーや飲み会など、楽しいことに縁がありそう。誘われたら、気軽に参加して。幹事を引き受けるのも吉
 【健康運】暴飲暴食にご用心。適度な休息も必須
 【幸運を呼ぶ食べ物】カボチャ

♍ 乙女座 8/23~9/22

【全体運】感情的になりやすいかも。ささいなことでイライラせず、笑顔を大切に。リラックスするには、趣味を満喫して
 【健康運】おおむね良好。スポーツを始めるのも○
 【幸運を呼ぶ食べ物】煮干し

♎ 天秤座 9/23~10/23

【全体運】コミュニケーション運が華やぐ兆し。初対面の相手ともスムーズに話が弾みそう。小旅行やドライブにもツキ
 【健康運】ちょっとしたけがに気をつけて、慎重に
 【幸運を呼ぶ食べ物】数の子

♏ 蠍座 10/24~11/22

【全体運】ゆったり過ごせそう。習い事を楽しむなど、プライベートの充実を図ってみて。買い物も満足のいくものに
 【健康運】健康に良いという食材を試してみると◎
 【幸運を呼ぶ食べ物】水炊き

♐ 射手座 11/23~12/21

【全体運】新しい挑戦をしたり、自己主張するのに向いているとき。以前、失敗したことに再トライするのも大賛成
 【健康運】体重増を招きがち。適度に運動すること
 【幸運を呼ぶ食べ物】ゴボウ

♑ 山羊座 12/22~1/19

【全体運】人当たりが良くなっていて、周りから頼られるはず。親切心を発揮して。裏方的な仕事も引き受けるのが正解
 【健康運】過信は禁物。十分な休息を取ると開運に
 【幸運を呼ぶ食べ物】だて巻き

♒ 水瓶座 1/20~2/18

【全体運】さまざまなことに興味を引かれそう。情報収集をしたり、経験者の話を聞いたりすると参考に。友人との交流も幸運
 【健康運】不規則な生活は×。体調管理を忘れずに
 【幸運を呼ぶ食べ物】ハクサイ

♓ 魚座 2/19~3/20

【全体運】頑固になりやすい傾向がチャラリ。人の話にも謙虚に耳を傾けて。心を静めるにはクラシック音楽を聴くのが有効
 【健康運】ストレッチなどで体をほぐせば、安泰
 【幸運を呼ぶ食べ物】小松菜

第9回 理事会議案

11月17日(水) 9時30分 開催
JAさらべつ 役員会議室

《付議事項》

- 第2回定期監査報告並びに指摘事項の回答
- 平成22年度産加工馬鈴しょ仮渡金
- 生産部会活動費の支出
- 更別村総合家畜品評会の休止
- 黒毛和牛のPR販売企画
- 平成23年度酪農畜産政策・価格対策に係る組織討議
- 平成22年度営農資材【期中還元・生産対策費】の実施
- 特定組合員に係る組合員勘定特別運用基準
- 平成22年度年末精算要領・日程
- 生産部会役員地区別人数
- 情報セキュリティ基本規程の一部改訂
- 個人情報取扱規程の一部改訂
- 給与規程の一部変更
- 職員就業規則の一部改訂
- 臨時職員就業規則の一部改訂
- 安全衛生規程の一部改訂
- 正組合員に対するお歳暮
- 寄付金の支出
- 職員に対する年末手当の支給
- その他

《報告事項》

- 組合員の脱退
- 平成22年度肥料高騰対応緊急対策事業
- 平成22年度産産物集荷状況
- 平成22年度産小麦の調整並びに全道共計販売参加数量
- 平成22年度産加工馬鈴しょ取扱結果
- 南工連操業状況
- 平成22年度春緑肥助成結果
- 平成22年10月末生乳生産実績
- 平成22年11月分バルク乳体細胞・細菌数検査結果
- 平成22年度肉用牛貸付事業(北海道開発公社扱い)導入経過
- 平成22年度更別村自力草地更新事業・デントコーン作付拡大奨励事業の交付申請
- 平成22年度酪農経営別資源循環型酪農推進事業の概算申請
- 特定組合員10月末経営状況(乳量実績含む)
- 農業委員会の農用地あつ旋状況
- 配合肥料の製造計画
- 平成22年度決算見込み(10月末基準)
- JAバンク基本方針に基づく経営状況の報告(モニタリング)
- 内部審査結果
- JA監査室監査結果
- 生産部会等開催結果
- その他



ちょっと休憩！頭の体操はいかがですか！

3			5	8	6			1
	8							9
		7			3	2		
			6		7	5		
6				3				4
		4	8		9			
		6	3			4		
	7						8	
5			1	7	2			3

Q 二重枠に入る数字の合計はいくつ？

【ルール】

- 空いているマスに、1～9までの数字のどれかを入れます。
- タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1～9までの数字が一つずつ入ります。

※答えはP11に掲載しております。

炊飯器パエリア

〈作り方〉

- (1) エビは背ワタを取る。鶏肉はひと口大に切る。
- (2) 赤ピーマンは1cm幅に切り、ピーマンは6～8つ割りにする。
- (3) フライパンにオリーブ油大さじ1を入れ、ニンニク、タマネギをいためる。米(とがずにそのまま)をいため、炊飯器に入れる。
- (4) (3) にオリーブ油大さじ1/2を足して、エビと(2)を焼き、取り出す。残りの油を足し、鶏肉を焼き、取り出す。(4)の全体に、塩、こしょう少々(材料外)を振る。
- (5) 同じフライパン(洗わない)に水360mlと【A】を入れて、スープのもとが溶けたら(3)に、加える。そのとき、炊飯器の2の目盛りの少し下になるように水加減を調節する。鶏肉とホタテをのせて普通に炊く。炊き上がったら、エビをのせて10分蒸らす。
- (6) 具を取り出し、全体を混ぜる。器に盛り、レモンを添える。

材料(4人分) ※1人前約567kcal

米(米用カップ) … 2カップ(360ml) 水…360ml
 エビ…4尾(120g) 蒸しホタテ(冷凍) … 8個(200g)
 鶏もも肉…200g 赤ピーマン…1個(100g) ピーマン…2個(80g) ニンニク(みじん切り) … 1片 タマネギ(みじん切り) … 半分(100g) オリーブ油…大さじ2
 【A】 スープのもと…小さじ1 塩…小さじ1/2
 トマトケチャップ…大さじ2
 レモン(4つのくし形切り) … 半分



ニンジンのポターージュ

〈作り方〉

- (1) ニンジン皮をむき、5cmほどを飾り用に切り分け、輪切りにして抜き型で抜く。ラップに包み電子レンジで約1分加熱する。またはゆでる。
- (2) 残りのニンジンとタマネギは薄切りにする。型で抜いた残りのニンジンも使う。
- (3) ベーコンはみじん切りにする。
- (4) 鍋にバターを溶かし、(2)と(3)をいためる。タマネギがしんなりしたら、【A】を加え、煮立てる。弱火で15分くらい煮る。粗熱を取る。
- (5) (4)をミキサーにかけ、滑らかにする。
- (6) (5)を鍋に戻し、牛乳を入れ、弱火で沸騰の直前まで温める。塩、こしょうで味を調える。器に盛り、飾り用ニンジンを飾る。



材料(4人分) ※1人分約161kcal

ニンジン…2本(300g) タマネギ…1/2個(100g)
 ベーコン…1枚(20g) バター…10g
 【A】 湯…カップ2・1/2(500ml)
 スープのもと…小さじ1 ご飯…大さじ3
 牛乳…カップ2 塩…小さじ1/2 こしょう…少々

編集後記

早いもので今年もあと残りわずかになりました。毎月発行している広報誌も今年最後となります。そのせいもあってか、一年の経過がとても早く感じました。さて、そんな今月号は、収穫作業終盤にあたる「大豆収穫」の記事や、秋から冬にかけて行なわれる各種研修会の様子を掲載致しました。内容の濃い行事が多かった発行月でした。新年号や来年1年間の広報誌はどのような内容になるのか、今から様々な行事が楽しみです。

2011年は作柄が良く、何かと明るい話題の多い年になり、組合員の皆様や役職員の皆様、そして家族の皆様にとって健康で良い年になることを祈り今年最後の広報誌発刊と致します。来年もまた取材に伺う際にはどうぞ宜しくお願い致します。では、みなさん良いお年を！ A J